

第36期第6回理事会議事録

日 時：2011年5月18日（水）18時40分～20時30分

会 場：国立オリンピック記念青少年総合センター
（センター棟404会議室）

出席者：新野、藤谷、岩崎、近藤、田中、中村(健)、
藤部、三上、余田、石原、佐藤(薫)、塩谷、
高瀬、中村(尚)、廣岡、藤吉、安成、
以上17名（理事現在数22名）

欠席者：石田、佐藤(正)、中島、黒良、竹見、
以上5名

その他の出席者：富川、小池、竹川（大会実行委員
会）、経田、徳廣（オブザーバー）、田沢、
萩原、渡辺（事務局）

議 事

議事に先立ち新野理事長より春季大会を担当した東京大学大学院理学系研究科、東京大学先端科学技術研究センター及び国立極地研究所に対して感謝の意が表明された。

1. 2011年度総会について

総会資料、総会参加票の意見、総会の進行について確認した。

2. 2011年度秋季大会、2012年度春季大会の準備状況及び今後の担当機関について

標記に関して準備状況を確認し、2014年度春季大会の担当を（独）海洋研究開発機構に依頼する方向が了承された。

3. 各支部の報告

北海道支部より例年通り活動を北海道大学と共同で進めていることが報告された。

東北支部より5月に理事会を行ったこと、今年度もサイエンスカフェを行う予定であることが報告された。

中部支部より5月に理事会を行ったこと、今年度の地区研究発表会と公開気象講座はそれぞれ2011年

度秋季大会への参加支援とシンポジウム開催に代替予定であることが報告された。

関西支部より6月に理事会を行う予定であることが報告された。

九州支部より気象教室をテーマ「台風」で8月27日に、昨年度好評だったことも気象学会を11月5日に、支部発表会は例年通り3月に行う予定であることが報告された。

4. その他

(1) 公益法人移行について

標記について、総会での説明内容を確認し、移行後の体制について議論した。体制案作成にあたり、新しい独自の事業に係わる部分と公益社団法人として必要な部分とを分けておくとわかりやすいとの意見があった。

(2) 3月18日付けの理事長メッセージ及び4月12日付けの補足について

新野理事長より標記について報告があった。今後総括に向けた議論を行うことを確認した。

(3) 大会運営に関する一提案

大会実行委員会より今大会の運営に関する①懇親会の扱い、②人件費の算出根拠、③企業との関わり方、④実行委員会のあり方についての問題点と提案について説明があった。これまで大会実行委員会任せで済ませてきた事項③も含め、今後理事会で検討することを確認した。

平成23年6月23日

社団法人日本気象学会

議 長 新野 宏

署名人 藤谷徳之助

署名人 中村 健治